

令和 5 年 8 月 4 日

東員町議会北勢線対策検討特別委員会委員長

水 谷 喜 和 様

東員町議会

大 谷 勝 治

研 修 報 告 書

研修期間	令 5 年 7 月 25 日 (火) ～ 7 月 26 日 (水)【 2 日間】
研修（視察）先	25 日（火）衆議院議員会館 26 日（水）銚子市役所（銚子電気鉄道）
目的（テーマ等）	25 日；三岐鉄道北勢線に係る運営補助金などについて。 26 日；銚子電鉄の運賃外収入などについて。
参加議員名 (複数の場合)	水 谷 喜 和 ・ 片 松 雅 弘 ・ 山 崎 ま ゆ み 伊 藤 治 雄 ・ 広 田 久 男 ・ 大 谷 勝 治
資料添付の有無	有 ・ <u>無</u>

※ 研修概要、内容、所感などは、次ページにご記入ください。

〔議員氏名： 大 谷 勝 治 〕

研修概要 1 日目

三岐鉄道北勢線に係る運営補助金などについて

衆議院議員石原正敬議員室において、国土交通省鉄道局鉄道事業課 地方鉄道再構築推進室 吉田 聡係長。 国土交通省鉄道局鉄道事業課 地域鉄道戦略企画黒鳥 孝則調整官。 衆議院議員石原正敬議員秘書 市川 淀内幸秘書官それぞれの方から概要説明うけました。

内容

○地域鉄道などに対する支援について。

安全輸送・移動の利便性向上、利用環境の改善・利便性の向上それぞれの補助対象設備と補助率について。

○地域交通の法改正について。

（目的・効果）地域の関係者との連帯と協働を通じて地方交通を再構築する。

○ローカル鉄道の再構築を実現するには。

特定区間については、国土交通大臣に再構築協議会の組織を要望をして、ローカル鉄道の再構築フローに従って地域交通の再構築を実現する。

○鉄道事業再構築事業の定義の見直し

地方公共団体の支援をうけて利用者の利便を確保する。

○地域公共交通再構築調査事業 補助率 1/2

私はサイクルトレインの事業例があるので、このことについては考えたいと思う。

○社会資本整備総合交付金の対象事業

住宅・社会資本の整備＋効果促進事業（2割）

○地域公共交通再構築事業での基幹事業の追加は創設以来初めて後調べる

再構築支援

○地方交付税措置について 30%から 45%

まちづくりを軸としたもの例えば利用促進パーク&ライドなどは北勢線は取り組んでいるので観光を軸とした取組例えばトロッキ電車など視野に入れた検討と Maas 導入なども検討していければと思われる。

所感

国の考えは、やはり地域の関係者との連帯と協働を通じて地方交通を再構築する。

北勢線は、このままでは、沿線の自治体負担は無くならないと思われます。

クロスセクターベネフィットの考え方に基づいた。クロスセクター効果で測る地域公共交通の定量的な価値に見合った国としての補填の基準のあり方を示す必要があると考えます。

以上

〔議員氏名： 大 谷 勝 治 〕

研修概要 2 日目

銚子電鉄の運賃外収入などについて。

銚子市役所において、銚子市議会 広野 泰代議長から挨拶を受けた後、
銚子市議会事務局長谷川 正広事務局長 川口 美和次長の挨拶をうけて
銚子市企画課企画室 野口 正輝室長。

所感

銚子電気鉄道株式会社 柏木 亮常務取締役による一連の説明を聞きましたが、やっ
ておられることが、多く、やれること、あるいは思いつくことは、何でもやっていく 20
21 年赤字が消えた訳が、わかりましたが、

柏木 亮常務取締役のエネルギッシュなこの様な経営は、この人だからやれる、時間
をかけて、今までやってこられた。このことを理解するには、許されるなら、東員町に
来ていただいて、指導を仰ぐ他はないと思いました。

以上